

放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）と国際原子力機関（IAEA）協働による国際医療研修の実施について

1 要旨・目的

HICARE は、IAEA と協働で、アジア太平洋地域等で線量評価及びその臨床応用を担う人材育成を図るため、国際医療研修を実施する。

2 現状・背景

HICARE は、平成 26 年に「放射線の影響とこの健康に関わる人材の育成」の事業分野において IAEA 協働センターの指定を受け、「放射線の人体への影響」「放射線事故や災害への医療対応」「先進的放射線治療」の 3 つの分野における人材育成をアジア・太平洋地域を中心に行っている。IAEA との国際医療研修は、協働センター指定後、今回で 8 回目の実施となる。

3 概要

(1) 実施主体

放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）

(2) 実施期間

令和 7 年 2 月 10 日（月）～ 2 月 14 日（金）（5 日間）

(3) 場所

広島大学原爆放射線医科学研究所、放射線影響研究所

(4) 実施内容

ア 名称

HICARE/IAEA International Workshop on Biological and Internal Dosimetry;
Development and Clinical Application of Biological Dosimetry Technology
HICARE/IAEA 生物学的及び内部被ばく線量評価に関する国際医療研修；
生物学的線量評価技術の進展と臨床応用

イ 内容

事故、環境及び医療被ばくの放射線影響の推定のための生物学的及び内部被ばく線量評価の最新の技術に関する講義及びディスカッション

ウ 監修者

田代 聡（広島大学原爆放射線医科学研究所副所長）

エ 出席者等（生物学的及び内部被ばく線量評価、放射線生物学の専門家等）

区分	人数	摘 要
講 師	14 人	・ IAEA 派遣：3 人 ・ HICARE 招聘：11 人 （量子科学技術研究開発機構、弘前大学、日本原子力研究開発機構、長崎大学、放射線影響研究所、広島大学）
参加者	17 人	6 カ国 （インドネシア、韓国、フィリピン、シンガポール、タイ、ブラジル）